

株式会社 かねよし



当社パイロットファクトリーの予定施設

- 本社所在地
東京都北区赤羽2丁目50番8－303号
- 事業概要
1947年に個人創業、1952年に株式会社に
て法人化した金属加工事業者。時代の変遷
の中で鋼材販売・金属加工事業へと業務を
拡大した。鋼材販売事業の中で100を超え
る金属鋼板の特性を熟知し、そのノウハウ
が加工分野においても有益に作用している。
経済産業省「地域未来牽引企業」、埼玉県
「彩の国工場」の認定を受けている。
- 常時使用する従業員：52名（2025年5月時点）
- 現在の売上高：13.1億円（2024年5月期）
- 法人番号：2030001074402
- Web:<https://www.kaneyoshidesu.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
吉田 竜一

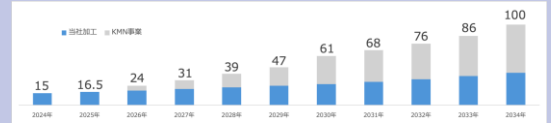
Kanto Manufacturing Network(KMN) による統合型ものづくり基盤の構築

関東の中小製造業は廃業が加速し、技術・設備・人材が失われつつあります。株式会社かねよしは、最新設備を備えたパイロットファクトリーを設立し、生産技術の革新とDX導入を先行実証。これを基盤にM&Aを展開し、営業・生産・物流を統合する「KANTO MANUFACTURING NETWORK」を構築します。統合営業で受注を一本化し、最適な企業へ振り分け、DXと標準化で生産効率を向上。資材調達と配送を一元化し、コストと納期の最適化も実現します。個々の町工場では実現不可能な競争力を生み出し、関東製造業の新たな産業基盤を築く。単なるM&Aではなく、企業を活かし、地域経済を支える成長戦略。これが、新時代のものづくりモデルです。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

パイロットファクトリーを基盤とし、廃業が増加する関東圏内の技術を有した中小企業をM&Aにより経営統合する。中小企業が生存・活躍できる仕組みを構築。2034年に年商100億円（CAGR23.5%）、営業利益20%を達成する。



課題

- ① 中小企業を牽引する新規事業・新技術への適応と市場開拓
- ② M&A先の選定と文化・理念統合
- ③ 営業の一本化とによる受注管理の最適化
- ④ 統合後の生産最適化と町工場間の役割分担の確立
- ⑤ 物流の統合とサプライチェーン最適化によるコスト削減
- ⑥ 統合後のブランド戦略と市場での競争力確立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

鋼材商社機能・切削加工・板金加工の3つのコアを有する当社であるが、これほどの対応範囲を持つ中小企業は少ない。この強みを活かし、中小企業では試行できない最新技術のテストベッド機能を具現化する。これを基盤に、単なる企業統合ではない、「設備投資・デジタル変革・サプライチェーン最適化」を同時に推進するM&Aを実施する。この仕組みをKMNとし、営業窓口・サプライチェーン（物流）・技術開発を統合し、関東製造業全体の競争力を抜本的に向上させる。

実施体制

当社を中核に、M&A企業、パイロットファクトリー（当社運営機能）、技術パートナー、DX推進企業、物流・調達支援企業、金融機関など多様な参画者が連携し、関東の製造業ネットワークを統合する。当社は全体の統括と営業機能を担い、統合後の企業を効率的に運営。パイロットファクトリーは最新技術を導入し、標準化とDX実証を進める。技術パートナーは新技術の開発支援、DX推進企業はIoTやAIによる生産管理の高度化を担当。物流・調達支援企業はコスト削減と供給安定化を実現し、金融機関はM&Aや設備投資を支援する。各領域の専門家と連携し、関東製造業の新たな基盤を確立する。